

K&W 第10号

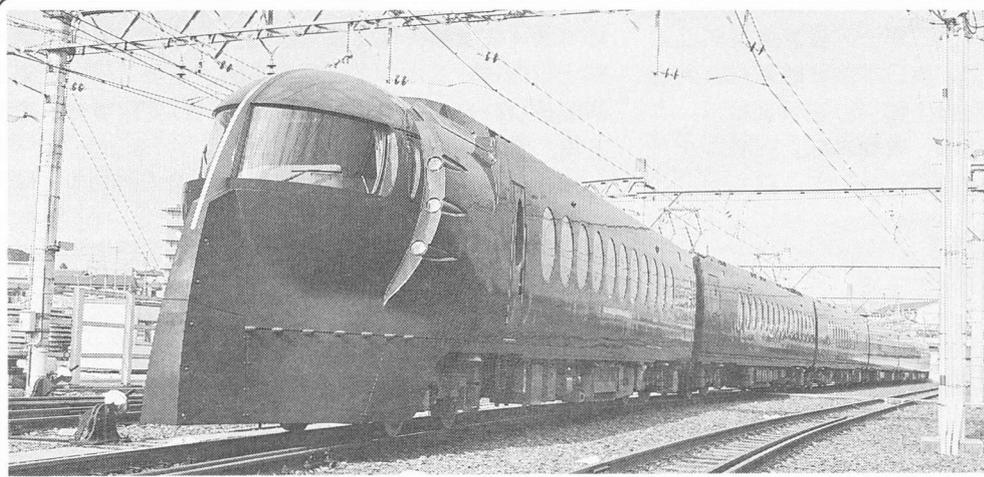
神奈川と溶接

発行 社団法人日本溶接協会神奈川県支部

〒210 川崎市川崎区本町2-11-19

電話 044-233-8367

FAX 044-246-5265



ラピートは9月に開港された関西国際空港と大阪の難波間を走っています

南海電鉄50000系特急電車「ラピート」写真提供・東急車輛製造(株)横浜製作所

第37回神奈川県溶接技術コンクール開催される

神奈川県及び(社)日本溶接協会神奈川県支部共催による、第37回(平成6年度)神奈川県溶接技術コンクールは、平成6年7月8日(金)(財)日本溶接技術センターに於いて開催されました。

参加者は66名(アーク溶接第1部22名・同第2部5名・半自動溶接第1部16名・同第2部23名)と、昨年並みの参加者となりました。

第1部の競技は、一昨年・昨年と連続日本一を獲得した全国溶接技術競技会の神奈川県の代表選考も兼ねているため、今年も日本一の栄冠をめざして、神奈川県代表の座を獲得しようとの意気込みで燃えて、熱気のうちに展開されました。

また、第2部の競技には37年続けて来た溶接コンクールに初めて外国人(ラオス国)の参加があり、極めて優秀な成績で入賞されました。

尚 審査は、外観試験，エックス線透過試験，曲げ試験，反則・不安全行為の各項目について行ない、8月8日に開催された審査会において、慎重に審議され入賞者が決定しました。

各部の優勝者

神奈川県知事賞 団体賞・個人賞

アーク溶接第1部第1位

(株)神戸製鋼所溶接事業部 古里 一男

アーク溶接第2部第1位

(株)三興製作所平塚工場 小川 英之

半自動溶接第1部第1位

(株)東芝浜川崎工場 菅野 英彰

半自動溶接第2部第1位

(株)石森製作所 西 茂樹

上記4名の方には知事賞の他に個人賞として、(社)日本溶接協会神奈川県支部長賞(優秀賞)(社)日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員長賞、(株)産報賞がそれぞれ贈られました。(以下次頁)

入賞者全員(成績順)

アーケ溶接第1部

古里一男/(株)神戸製鋼所溶接事業部, 峯尾幸三/三菱電機(株)鎌倉製作所, 具志恒夫/三菱重工業(株)横浜製作所, 長内靖/(株)東芝京浜事業所, 野崎正/三菱重工業(株)横浜製作所, 出口真一/住友重機械工業(株)追浜造船所, 遠藤政之/東日本旅客鉄道(株)大船工場, 佐藤和夫/住友重機械工業(株)追浜造船所, 小田忍/富士電機(株)エネルギー事業本部, 川嶋克彦/石川島播磨重工業(株)横浜第一工場

アーケ溶接第2部

小川英之/(株)三興製作所平塚工場,
高橋護/(株)青柳製作所

表彰式

表彰式は、9月14日(木)(財)日本溶接技術センターにおいて、関係者多数の出席により開催されました。

主催者側から神奈川県工業貿易課長,(社)日本溶接協会神奈川県支部長による表彰が行われ、その後、審査委員長(神奈川県工業試験所長)による

半自動溶接第1部

菅野英彰/(株)東芝浜川崎工場, 堀合拓夫/(株)東芝京浜事業所, 金子和之/(株)神戸製鋼所溶接事業部, 今村義彦/(株)東芝浜川崎工場, 高坂武/東急車輛製造(株)車両工場, 対馬英昭/日立造船(株)神奈川工場, 青木満/住友重機械工業(株)追浜造船所, 望月一男/富士電機(株)エネルギー事業本部, 安藤二郎/東急車輛製造(株)自動車工場, 長沢忍/(株)荏原製作所藤沢工場, 田中友明/石川島播磨重工業(株)横浜第三工場, 鈴木信一/東急車輛製造(株)車両工場

半自動溶接第2部

西茂樹/(株)石森製作所, 後藤司/(株)青柳製作所 塚本和夫/大畑工業(株), 岸下尚由/(株)加藤製作所 佐々木雅之/大畑工業(株), 木村隆信/(株)加藤組鉄工所,
ピライマニボン・ブント/アイダウエルディング(株) 永田勇二/(株)福嶋鉄工所, 片山順作/(株)黒崎鉄工所 江波戸敏彦/(株)石森製作所, 清水道明/トルク工業(株) 岩淵正明/(株)芝浦製作所相模工場,
野村敏雄/(株)青柳製作所, 松谷雅紀/(株)加藤組鉄工所



喜びの入賞者

(写真:事務局)

平成6年度(第40回)

全国溶接技術競技会 山口県大会

平成6年度の全国溶接技術競技会は、山口県山口市にある山口職業能力開発促進センターにおいて、10月29日(開会式)・30日(競技会)の2日間に渡って開催されます。神奈川県からは、先に行われた第37回神奈川県溶接技術コンクールにおいて、各第1部で1位・2位に入賞した下記の4名が県代表として参加します。神奈川県が、一昨年・昨年に続いて今年も優勝し、3年連続日本一に向けて全員が実力を遺憾なく発揮されますよう心から声援を送ります。

アーケ溶接の部

古里 一男 (株)神戸製鋼所溶接事業部
峯尾 幸三 三菱電機(株)鎌倉製作所

半自動溶接の部

菅野 英彰 (株)東芝浜川崎工場
堀合 拓夫 (株)東芝京浜事業所

『技術ガイド』亜鉛メッキ鋼板の溶接

ガスシールドアーク溶接により薄板の亜鉛メッキ鋼板を溶接していますが、スパッタが多くピットも発生しています。被覆アーク溶接ではそこそこうまくいっていましたが、ひずみが多く困っています。何か良いワイヤはありませんか。

(神奈川県 N板金)

亜鉛メッキ鋼板を大別すると、溶融亜鉛メッキ鋼板(目付量60~600g/m²)、電気亜鉛メッキ鋼板(目付量10~50g/m²)があり、その目付量により溶融施工が大きく変わります。この目付量が多くなると作業性の低下・欠陥の発生につながり、100g/m²を超えるものについては溶接がむずかしくなります。今回のご質問では亜鉛の目付量が不明であるため、ここでは100g/m²以下の亜鉛目付量の溶接についてご説明いたします。

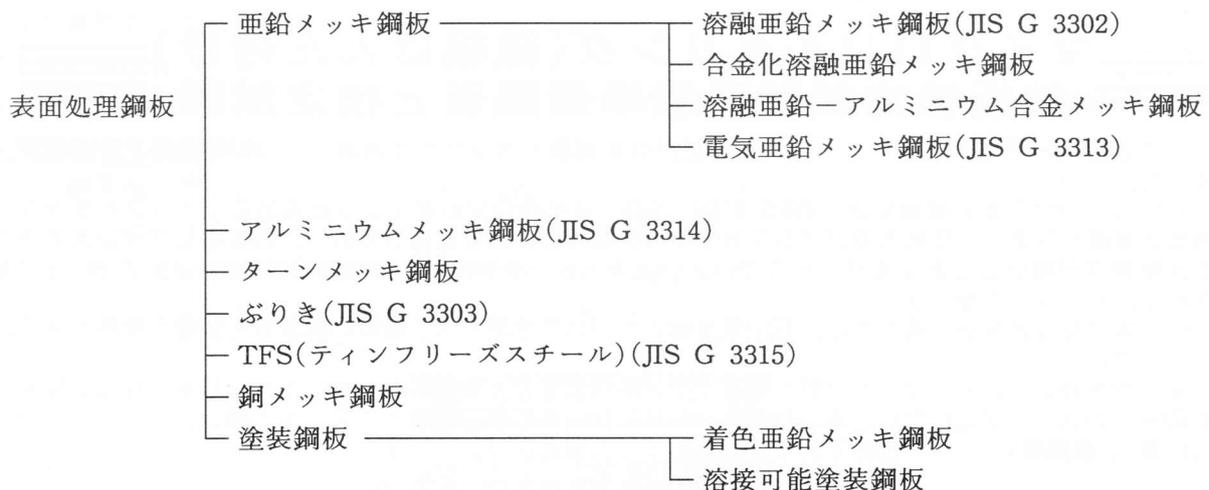
ご質問にありましたように、被覆アーク溶接は亜鉛に対し、比較的鈍感であることから、一般的に良く使われていますが、板厚が薄くなると溶接がむずかしく、ガスシールドアーク溶接を使うことがあります。

ガスシールドアーク溶接法は、施工的にも楽で

あり自動化もしやすい反面、いままでのソリッドワイヤでは、亜鉛を主体としたガスの発生によりピット・ブローホールなどが発生し、アークも乱れ、スパッタが増大する傾向にあります。

そこで耐ピット性・低スパッタ・耐溶落ち性に優れた“MX-100Z”があります。このMX-100Zは従来からあったフラックス入りワイヤのMX-100Tの特長を生かし、さらにフラックス組成の調整を行ったものであり、薄板(1.0~3.2t)の溶接でその特長が活かされます。しかし亜鉛メッキ鋼板の中にも前述のメッキ鋼板の他に表1に示すような種類があり、亜鉛の目付量が100g/m²以下であっても溶接を行う前に作業性、耐ピット性について確認をする必要があります。

表1 表面処理鋼板の種類



((株)神戸製鋼所・溶接だより技術ガイドより転載)

クイズ?

1~7は日常普通に使われている外来語ですが、国籍はどれもまちまちです。

イ~トは同じ言葉の英語です。共通する言葉を線で結んで下さい。

1. キリシタン
2. プリン
3. カルメラ
4. カピタン
5. ミシン
6. トロッコ
7. カルタ

- イ. プディング
- ロ. カード
- ハ. トラック
- ニ. クリスマス
- ホ. キャプテン
- ヘ. キャルメラ
- ト. マシン

答えはファックスでお寄せ下さい、応募者には粗品をお送り致します。また、原稿を募集しています。自社の紹介や、技術関連、簡単な旅の話・写真・クイズの問題等お待ちしております。
 (社)日本溶接協会神奈川県支部
 TEL 044-233-8367
 FAX 044-246-5265

(4)

原子力分野における最近の接合技術の 進歩に関する国内シンポジウム

(社)日本溶接協会原子力研究委員会では、原子力産業に携わる研究者、技術者間の技術交流の場を提供し、最新情報の交換、現状の把握と今後の動向に関する討論を目的として、テーマを設定した国内シンポジウムを年2回(春・秋)開催しております。

今回(第16回)は、原子力施設への実際の適用事例及び特殊接合技術を含めた最近の接合技術開発状況について情報を提供すると共に、出席者の皆さん方にも議論していただく場として企画されました。参加希望の場合は下記へお問い合わせ下さい。

記

期 日 1994年10月14日
場 所 東京大学・山上会館
申し込み及び問い合わせ先

(社)日本溶接協会 業務部 03-3257-1521

祝

創立25周年記念行事

財団法人日本溶接技術センター(会長 稲垣道夫氏)は、昭和44年に発足して今年で25年の節目を迎えることから、これを記念して来る10月21日22日に渡り「日本溶接技術センター25周年行事」を挙ります。同センターでは大勢の方のご来場を望んでいます。どなたでも結構です。お待ちしております。(入場は無料です)

1. 記念式典(同センター 5階大講堂)
10月21日(金)13時30分～14時50分
同センターに貢献のあった団体と個人に感謝状または表彰状を送ります。
1. 記念講演(同センター 5階大講堂)
10月21日(金)15時～17時
読売新聞論説委員 中村政雄氏
「文明の行方」
川崎重工業(株)社長 大庭 浩氏
「物造りこそ経済発展の原動力」
1. 祝賀会(同センター 5階大講堂)
10月21日(金)17時30分～19時
1. 創立25周年記念
「ハイテクウエルディングショー」
(同センター全館展示会場)
10月21日(金)10時～17時30分
10月22日(土)10時～16時
約30社が最新の開発製品等を展示します。

マイクロソルダリング(微細はんだ付け) 技術検定試験受験準備講習と検定試験

JIS Z 3851マイクロソルダリング技術検定における試験方法及び判定基準が、1992年10月1日に制定されました。

これにより(社)日本溶接協会は、WES 8109-1993・マイクロソルダリング技術者及びインストラクタの資格認定基準を制定し、技術者及びインストラクタの指導と育成を推進しており、技術者及びインストラクタの人材育成が整いつつあります。そこでいよいよオペレータ(作業員)の技術検定試験(JIS Z 3851)が実施される段階になって参りました。

(社)日本溶接協会神奈川支部は、石川県支部につづいて全国では2番目の講習会と試験を実施することにいたしました。

従来溶接技術とは全く違った分野への進出ではありますが、会員各社、そして(社)日本溶接協会発展のための一つのステップにしたいと思ひ計画いたしました。各位のご理解とご協力をお願いいたします。尚詳しい案内(募集要項)はまだ出来ておりませんので12月頃お送りいたします。

実施予定期日 1995年2月2日(木)3日(金)
会 場 (財)日本溶接技術センター

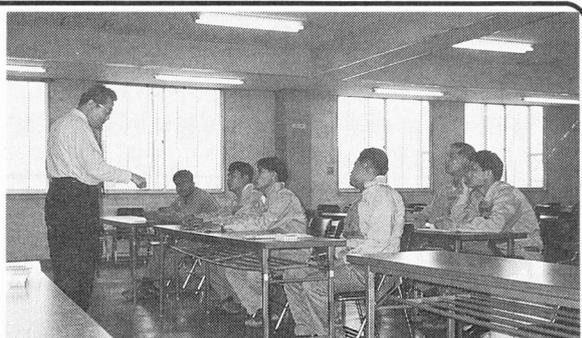
外国人研修性の初級溶接技能評価試験が実施されました。

本紙第9号にてお知らせしました「溶接技能評価システム」に基づく初級溶接技能評価試験は、既に3回(神奈川県支部扱い)実施されました。

この受験資格者は外国から研修生として入国し、企業などにより1年間研修を受けられた方です。

*実施

1994年6月2日	4名	フィリピン
1994年8月22日	1名	中国
1994年9月5日	6名	タイ



写真は9月5日・試験前の説明に聞き入る受験者